

中開作第2排水区 大規模雨水処理施設整備事業計画（周南市）

（様式1）

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
選定理由	中開作第2排水区は夜市川の河口付近に位置し、潮位が高い場合には小降雨でも排水が困難となる地区である。近年、都市化の進展により雨水の流出量が増加する一方、田畑や間地の減少による湛水容量の低減により、浸水被害が常襲化している。特に、平成21年7月21日の梅雨前線豪雨時は潮位も高く、道路冠水2か所、床上浸水9戸、床下浸水19戸の被害が発生しており、早急な浸水対策が急務である。			
整備目標	① 本計画における対象降雨 ・ 本計画におけるハード・ソフト含めた対象降雨： ハード：55mm/hr ソフト：143mm/hr（想定最大規模降雨） ・ 目標とする理由：本市の公共下水道事業計画（雨水）で定める降雨強度であるため ・ ハード整備による整備水準の目標：55mm/hr（1/10確率降雨） ② 目標設定 i) 生命の保護の観点：当該排水区内の浸水被害を軽減する。 ii) 都市機能の確保の観点：当該排水区内の道路冠水を軽減する。 iii) 個人財産の保護の観点：当該排水区内の家屋の浸水被害を軽減する。 iv) その他：特になし 備考）浸水対策の観点（生命の保護、都市機能の確保、個人財産の保護等）から目標設定を行い、その内容について具体的に記述 ③ ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について ・ ハード対策：施設整備により下水道計画降雨に対して浸水軽減を図る。 ・ ソフト対策及び自助：下水道管理者による想定最大規模降雨143mm/hrの浸水想定区域図及び内水ハザードマップの作成・公表、地域住民等による水路、側溝等の清掃など、それぞれの主体が対策を実施することにより、浸水被害の軽減を図る。			
項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	・ 有（平成 年 月 日策定済み） ・ 策定予定（令和7年3月末策定予定）			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・ 雨水管渠の整備 排除面積 25ha ・ 雨水ポンプ場の整備 排水能力 450m3/分
			下水道管理者以外	該当なし
		ソフト対策	下水道管理者	・ 内水ハザードマップの公表
			下水道管理者以外	・ 洪水・高潮ハザードマップの公表（防災危機管理課）
	自助	ハード対策		該当なし

		ソフト 対策		水路、側溝等の清掃
--	--	-----------	--	-----------

年度計画（百万円）

名称	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
雨水管渠	1,100	279	637	657	220
雨水ポンプ場	191	445	445	1,154	1,154
計	1,291	724	1,082	1,811	1,374
名称	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	計
雨水管渠	253	344	344	342	4,176
雨水ポンプ場	1,154	1,154	1,154	1,153	8,004
計	1,407	1,498	1,498	1,495	12,180

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<事業評価の内容> 浸水被害の軽減便益：14,122百万円が削減される。 B／C：1.2 経済的内部収益率：5.2%
放流先河川との調整状況	■当該地区の排水は、2級河川夜市川へ放流する計画であり、放流先の河川管理者と放流量や放流渠の工事内容等について協議中である。
その他	特になし

